

課 題	3	安全で快適な文化の薫るまちづくり
重点項目	16	区民主体のまちづくり

**目的**

新宿区の持つ歴史と文化を再発見し、活かしていくまちづくりを目指します。

**対象・手段**

10地区程度を想定し、区民主体のまちづくり活動を支援しながら、地区計画の策定を推進します。  
区民会議及び地区協議会を活用し、区民の参画を得て都市マスタープランを改定します。

**重点項目の方向**

まちづくりにあたっては、地域特性を活かし、住民の意思を反映したきめ細かな計画づくりが求められています。それぞれの地域特性や歴史を踏まえ、区民や地域で活動する事業者等の参加と協力による、地域に根ざした計画づくりやまちづくりを進めます。

区における都市計画の基本である都市マスタープランの改定にあたっては、基本構想の見直しや基本計画の策定と連携しながら、区民参画によって進めます。この都市マスタープランの改定により、民間による建築・都市開発の適切かつ一体的な誘導を図っていきます。

**成果指標**

指標名		定義		目標水準		
地区計画等の策定数(まちづくり構想等の任意のまちづくりルールを含む)		地区計画等のまちづくりルール策定数 / 12地区		(平成19年度に12地区)	の水準達成	
地区計画等の策定区域面積(まちづくり構想等の任意のまちづくりルールを含む)		地区計画等の策定区域面積 / 112ha		(平成19年度に112ha)	の水準達成	
都市マスタープランの改定における区民の意見収集のための会議等の開催回数		区民意見の収集、反映の度合を表すものとして、会議等の回数を指標にします。		(平成19年度に100回)	の水準達成	
重点項目の達成状況						
		単 位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
重点項目 成果指標	目標値1	地区	12.00	12.00	12.00	平成19年度末現在12地区 103.8ha  区民の意見収集のための会議開催は、合計94回です。(平成17、18年度は、区民会議等の開催回数です。平成19年度は区民会議等はありませんでしたが、地域の説明会10回、素案策定に向けた関係者との検討を14回及びその他地域のまちづくりに係る協議会等約70回の説明機会を加えています。)
	実績1	地区	9.00	10.00	12.00	
	目標達成率1 = /	%	75.00	83.33	100.00	
	目標値2	ha	112.00	112.00	112.00	
	実績2	ha	91.40	98.40	103.80	
	目標達成率2 = /	%	81.61	87.86	92.68	
	目標値3	回	100.00	100.00	100.00	
	実績3	回	82.00	144.00	94.00	
	目標達成率3 = /	%	82.00	144.00	94.00	

**主な取組み**

区民の主体的なまちづくり・地区計画の推進事業では、新たに2地区で地区計画を策定しました。また1地区で地区計画策定に向けた手続きを進め、都市計画審議会で審議を終えました。  
 都市マスタープランの改定にあたっては、平成19年8月に素案を作成し、区内10箇所で開催しました。またパブリックコメントでは都市マスタープランに関して110件の意見が寄せられました。それらを踏まえ、基本計画と都市マスタープランが一体となった「総合計画」案を作成し、12月区議会で議決され、新たな都市マスタープランを定めました。

**課題**

地域特性を活かしたまちづくりを推進していくためには、地区計画制度の活用が有効です。そのためには、地域住民の合意形成をいかに図っていくのが大きな課題となっています。そして、その地域の実情に合わせた適切な手法を選択しながら、まちづくりを柔軟に推進していく必要があります。  
 新しい都市マスタープランに基づいて具体の事業を進めるため、区民の方には地区計画等のまちづくりを通じて、事業者には行政協議の場で、都市マスタープランの浸透・周知を図る必要があります。

**評価**

総合評価	
区民主体のまちづくりでは概ね計画どおりの策定面積を地区計画決定でき、また都市マスタープランについては区民の方々の協働により策定を行い、目標を達成できたため、総合評価をAとしました。 サービスの負担と担い手 地区計画は、区民のまちづくり活動を区が支援し、区が都市計画決定で定めることになっています。都市マスタープランは、区民会議・地区協議会をはじめ、パブリックコメントや説明会等を通じた区民等の参画を得て策定しました。 適切な目標設定 地区計画等を活用したまちづくりルールを策定することにより、地域特性にふさわしいきめ細かなまちづくりを推進していくことができるため適切な目標設定です。都市マスタープランは策定過程への区民参画を基本としており、区民のまちづくりに対するニーズの反映という観点からも適切な目標設定です。 効果的・効率的な視点 地区計画の推進では、区民のまちづくり活動を支援していく手法は、区民主体のまちづくりを進めることができるため、効果的です。都市マスタープランについては、計画づくりの初期段階から区民の参画を得て検討することは先進的で効果的な取り組みです。 目的の達成度 地区計画の推進では、具体的に2地区で地区計画を策定することができ、また1地区で地区計画策定に向けた手続きを進め、都市計画審議会で審議を終えたので、概ね計画どおりまちづくりを推進できました。都市マスタープランは、平成19年度はパブリックコメントや説明会を通じて区民の方の意見をいただき、それらを踏まえて、新たな都市マスタープランを策定することができました。	A

**今後の取組み・改革の方針**

現在、多くの地区でまちづくり活動が展開されており、また、新たな地区におけるまちづくりの相談も予想されます。今後は、地域の課題にきめ細かく対応し、地域住民との協働によるまちづくり活動を積極的に支援していくため、新宿区総合計画の基本施策「-2- 地域主体のまちづくりとそれを支えるしくみづくり」に引き継いで取り組んでいきます。  
 都市マスタープランは平成19年度に改定し、総合計画を策定したため終了します。

**重点項目を構成する計画事業**

	総合評価	頁	総合評価	頁
区民主体のまちづくり・地区計画の推進	B	172		
都市マスタープランの改定	A	156		